

令和5年 第12回全員協議会会議録

令和5年11月9日 議員控室

○事 件

町長報告事項

- (1) ALPS処理水の海洋放出に係る町内水産加工事業者への緊急支援について
(水産課)

○出席議員（11名）

議長 千葉 隆 君
赤井 睦美 君
横田 喜世志 君
関口 正博 君
倉地 清子 君
斎藤 實 君

副議長 黒島 竹満 君
佐藤 智子 君
大久保 建一 君
宮本 雅晴 君
安藤 辰行 君

○欠席議員（3名）

三澤 公雄 君
能登谷 正人 君

牧野 仁 君

○出席説明員（9名）

副町長 成田 耕治 君
財務課長 川崎 芳則 君
水産課長補佐 藤原 悟史 君
商工観光労政課長補佐 南川 隆雄 君
政策推進課長補佐 宮下 洋平 君

総務課長 竹内 友身 君
水産課長 田村 春夫 君
商工観光労政課長 井口 貴光 君
政策推進課長 川口 拓也 君

○出席事務局職員

事務局長 三澤 聡 君
庶務係長 菊地 恵梨花 君

事務局次長 成田 真介 君

[開会 午前 9時30分]

◎ 開会・議長挨拶

○議長（千葉 隆君） おはようございます。今日は早期に対応していかなければならないということで9時半という時間帯ですがお集まりいただきました。ご苦労様です。

◎ 町長報告事項

○議長（千葉 隆君） それでは早速表題の報告を受けていきたいと思えます。

（1）ALPS処理水の海洋放出に係る町内水産加工事業者への緊急支援についてのご報告をお願いいたします。

○副町長（成田耕治君） 議長、副町長。

○議長（千葉 隆君） 副町長。

○副町長（成田耕治君） まず町長の動向ですが、6日から渡島町村会の研修、また防衛施設周辺整備中央要請、また全国の町村会の会議がございまして、来週の17日まで上京しておりますので、本日の会議は欠席いたしますことを報告いたします。

それでは私のほうから前段、少し説明させていただきたいと思えます。

先般、総務常任委員会でALPS処理水の被害支援などについてご説明をさせていただいたところでございます。今回、水産加工事業者への支援内容がまとまりましたので報告させていただきたいと思えます。

なお、今回の支援につきましては、社員食堂や学校給食の提供先を八雲にゆかりのある企業や自治体、その他全国から募集する等、緊急性を要する事案ですので、専決処分をさせていただきたいと考えておりますので、議員各位にはご理解を賜りますようお願い申し上げたいと存じます。

町の支援の前にALPS処理水の海洋物質に係る東京電力の漁業者・水産加工業者の保障についてご説明させていただきたいと思えます。

当初、東電の保障に関しては漁業者をメインとしてございまして、中国輸出加工業者に対する支援を想定していなかったということが挙げられてございます。

まず漁業者については漁連が窓口となって東電との交渉を行っております。ホタテやナマコに関してはALPS処理水の放流前と放流後の単価の差額に水揚げ量を掛けて市場手数料を差し引いた額を補償することとさせていただきます。また、特にですね、中国に輸出していた水産加工業者については、それぞれの事業者で交渉することになりますが、金融による売り上げ減少額から、金融による取引中止に係る費用の減少額を差し引いた額を補償することとさせていただきます。事業者が今一番要望していることとしては、仕入れの資金繰りが悪化していることへの金融の支援を求めていることとしてございまして、大変、状況としては厳しい状況にあるということとさせていただきます。

今回の水産加工業者への支援に関しましては、ALPS処理水放流前に仕入れたホタテが輸出できない。また中国へ輸出したホタテが戻されるなど、現在、冷凍庫が在庫過多となっております。これを販売し冷蔵庫に受け入れるスペースを作らなければ、来年町内で本格的に生産されるホタテの仕入れに多大な影響が出るが見込まれることから支援するものであります。

それでは具体的な支援内容について担当から説明させていただきたいと思えます。

○商工観光労政課長補佐（南川隆雄君） 議長、商工観光労政課長補佐。

○議長（千葉 隆君） 商工観光労政課長補佐。

○商工観光労政課長補佐（南川隆雄君） それではALPS処理水の海洋放出に係る町内水産加工事業者への緊急支援について私からご説明いたします。

資料1をご確認をお願いします。最初に当事業につきましては、冒頭で副町長からもご説明のとおりALPS処理水に係る緊急対策支援事業といたしまして3つの事業としております。

①社員食堂へホタテを無償で提供する事業、②学校給食へホタテを無償で提供する事業、③町内販売を実施することでホタテの消費を支援する事業の3つの事業であります。

この事業については、①・②については国の水産物安定供給推進機構の販路拡大等支援事業の補助金を活用し、③については町の単独予算事業であります。

それでは事業の説明をいたします。事業目的①・②と左に記載しているところでございます。

町はホタテ加工商品、玉冷やボイル柱などを買い取りし社員食堂及び学校給食へ無償提供すること。その下、事業目的③町内販売については、加工業者がホタテ加工商品、玉冷を町内の事業所等で販売する際に、一定の補助をするものであります。

次に事業概要①・②と記載しているところですが、①社員食堂を実施している企業、②学校給食に提供するホタテ、この①・②を町は八雲地区水産加工協同組合から町は買い取りを行い、それを無償で提供するものであります。なお募集については、八雲町のホームページ申込フォームを活用し全国からの企業及び学校を幅広く募集し、補助金の都合上1人当たりの提供金額を設定しておりまして、社員食堂1人当たりホタテ玉冷・ボイル柱を3粒、学校給食1人当たりのボイル柱3粒を目安に算出提供いたします。なお発送については、後ほど下記の図のフローチャートで説明いたしますので省略いたします。

次に一部資料の文面に修正があり大変申し訳ありませんが、事業目的③と記載していますが、事業概要③の誤りであります。修正をお願いいたします。

ここでは③町内販売支援事業について説明しますが、町は八雲地区水産加工協同組合が、町内において限定販売するホタテ玉冷の商品を、一定の数量を実績に基づいて半額を補助とする事業であります。次に対象者等ではありますが、どの方を対象とし、どのくらいの量を無償提供及び販売を考えているとのことではありますが、①社員食堂については76万6,665食の46t。これは工場や営業所など社員食堂を有する企業を対象とし社員数の制限は設けず、こちら中身は玉冷とボイル柱で考えておりますが、こちらについては選択はできないかたちではありますが、募集するといたします。

次に②学校給食については36万6,665食の22t。これは町内を含む小学校・中学校等を対象とし、生徒数の制限は設けず、こちらボイル柱を募集いたします。①・②共通して申込は1回限りとしております。最後に③町内販売については15tの玉冷の販売を1kgあたり50粒相当と捉えている袋売りを2分の1補助と考えておりまして、税込み4,160円のところ、一般の販売は2,160円、こちら税込み。残り税抜き分の2,000円を町で補助することとしておりまして、町内販売することで割安で町民等が購入できることを考えております。なお、1回あたりの販売数量をより多くの方に購入していただきたいため1回当たりの制限は5kgなどの制限を設けさせていただくこととして考えております。

それでは、具体的な流れのイメージではありますが、図は上段・下段と別れておりまして、上段については①社員食堂と学校給食、下段は町内販売の流れでございます。簡潔に申しますと、今回、予算の要求は八雲町は水産業費として考えておりまして、本日の専決処分の決定を受けたあと、公

募フォームがこちら完成決定次第、町内外へ幅広く公募し、国の販路拡大等支援事業の交付が決定後、 図のとおり、町は買い取りを行うために、公募決定した企業や学校の食数の情報により、加工協を通して加工事業者の配分を行い、その数量、物量に対して下記の運送業者と委託契約を締結し、商品の適切な保管と迅速な配送を行い、送り状等の印刷をし、出荷するまでの一連のロジ作業を委託契約し、企業や学校へ出荷されるチャートとなります。下段③町内販売については、こちらにも加工協が主催というかたちでございますので、場所等を調整していただき、町内で販売しお客様が購入し、その販売額を基に町へ実績報告をしていただき、販売した実績に応じて最大町は 3,000 万円までの補助をする事業であります。

提供時期としては、本日の議会の承認を得てからといったところですが、①・②社員食堂と学校給食の公募フォームの準備が整いましたら、まずは優先順位としてはこちら冬休みの関係等もありますので、まずは②の学校給食からの公募を早ければ 11 月中には開始、①社員食堂については 12 月からを予定しており、公募が予定数量に達成次第終了となることから、イメージ的には年内で公募し年明け 1 月から 3 月にかけて企業や学校等へ発送する流れで予定しております。ただあくまでも先ほどお話をしました、国の補助金の交付決定通知後の発送が可能であるというところは条件でありますので、あくまでも公募は事前の準備として進めて、補助金の決定通知後がおそらく 1 か月強と予想されるので、そういったところで実際、発送は年明けと想定しているところであります。③販売については、先ほどもお話をした加工協が主催とするものでございますので、こちらは町単独事業でありますので、国の決定通知を待たないで実施することが可能ですので、販売時期は加工協が調整中であります。

最後になりますが、この事業の予算規模でございますが、①社員食堂については 1 億 9,076 万 5 千円、補助金は 1 億円上限の補助率 2 分の 1 でありますので、歳入としては 9,538 万 2 千円を見込んでおります。②学校給食については 9,612 万 2 千円、こちらは 1 億円の上限の補助率 10 分の 10 でありますので、歳入としては同額を見込んでおります。

最後に町内販売は総事業費としてはこちら記載はしておりませんが、先ほど話したとおり、4,160 円の 15t すべて完売した場合、6,240 万円、それを 2 分の 1 補助を町から 3,000 万円を単独予算費用として、残り 3,240 万がお客様からの販売した際の収益とする事業であります。①から③合計しますと 3 億 1,688 万 7 千円の補正予算を要求し、一部の補助金の歳入が見込まれることから、町の実質負担は 1 億 2,538 万 3 千円であります。

最後に結論としては、この事業については、社員食堂・学校給食合わせて 113 万 3,330 食の 68 t と町内販売すべて完売した場合の 15 t の合わせて 83 t を支援することで、八雲町の水産加工事業者の ALPS 処理水の影響を受けている支援内容と考えております。

以上、長くなりましたが、ALPS 処理水の海洋放出に係る町内水産加工事業者への報告とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○議長（千葉 隆君） ありがとうございます。それでは冒頭副町長からもご説明がありましたように、今補佐のほうから説明した資料 1 のほかに、東電からも漁業者加工者に別口で補償されるという説明を受けました。また先行して動き出している町村もございますので、専決でスピード感をもって対応していかなければ補助申請と補助決定の期間の関係もございますので、専決ということでのお願いということで受けていきたいと思いますが、皆さんのほうからご意見等ありましたら受けていきたいと思っております。何かございませんか。

○4番（大久保建一君） 質問いいですか。

○議長（千葉 隆君） どうぞ。

○4番（大久保建一君） すみません、質問なんですが、町内業者で水産加工業者でこの加工協って加入率100%なんですか。

○水産課長（田村春夫君） 議長、水産課長。

○議長（千葉 隆君） 水産課長。

○水産課長（田村春夫君） ちょっとそこまでは確認してないんですが、加入率は100%ではないというふうに考えております。それで今回の加工会社に対する支援の関係ですが、加工協からの要望では、地元加工場を持っていて、八雲町からホタテを買っていると。なおかつ中国へ輸出している加工業者が6社あって、そのうち2社については、今回の事業については、在庫等の関係から辞退して、4社に対して支援する予定でおります。よろしく願いいたします。

○議長（千葉 隆君） ほかに。

○2番（佐藤智子君） はい。

○議長（千葉 隆君） 佐藤さん。

○2番（佐藤智子君） これ募集するってことですが、町内の小中学校等はわざわざ募集しないで、もう提供するってかたちは取らないんですか。

○商工観光労政課長（井口貴光君） 議長、商工観光労政課長。

○議長（千葉 隆君） 商工観光労政課長。

○商工観光労政課長（井口貴光君） 今回の事業については、町内の小中学校も対象としておりまして、事前に生徒数の確認をしております。それについては教育委員会と調整を行って、必要数が確認できましたら、当然この事業によって提供するという事で考えております。

○議長（千葉 隆君） ほかにありませんか。

○5番（関口正博君） 一点だけ。

○議長（千葉 隆君） 関口さん。

○5番（関口正博君） 学校給食に関しては近隣の町でも実施しているということですが、社員食堂に関して、食数も多いんですが、埋まらない可能性も当然あるのかと思いますが、その際の対応はどういう。

○商工観光労政課長（井口貴光君） 議長、商工観光労政課長。

○議長（千葉 隆君） 商工観光労政課長。

○商工観光労政課長（井口貴光君） 社員食堂の件ですが、先ほどもご説明させていただいたように12月に入ってから、まずはホームページの申し込みフォームで受付いたします。それで数量的には学校給食よりもトン数が多い設定になっておりますので、関口議員がおっしゃるように、埋まらないという可能性も想定しております。それで一旦受け付けが、おそらく集中すると思いますので、どこかの段階で一旦区切ってまずは発送に入る。それで残数があれば第2弾ということも今現在、想定しておりますので、その部分は第2弾ということで申し込みを受け付けるということと、ホームページだけではなかなか周知がされないということであれば、なにか効果的な方法で更に周知を進めていくことも想定しているところであります。以上です。

○議長（千葉 隆君） そういった状況もありますので、皆さん中小、大きい企業の知り合いがありましたら、社員食堂があるようなツテがあれば、なんとかそういった部分も含めて協力していくようにお願いしたいと思います。ほかになればこれで専決で対応してよろしいですか。

（「はい」という声あり）

○議長（千葉 隆君） それではありがとうございます。

〔閉会 午前 9時51分〕